

第 25 期 pES club シナリオ 4

2026 年 4 月 12 日

医療法人社団八洲会 あしがら西湘歯科診療所

木森 久人

東京科学大学 歯科公衆衛生学分野

南郷 里奈

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたはピコデンタルクリニックに勤める 4 年目歯科医師です。

南手茂亀流さん（45 歳男性）は、歯ぐきからときどき出血することを主訴に来院しました。現場仕事が忙しく、なかなか歯科にかかる機会がなかったようです。

問診の後、歯周組織検査を行ったところ、全顎的な歯肉の発赤腫脹と、何箇所か歯石沈着も認められました。

あなた「歯ぐきに腫れがありますね」

南手茂「そうですか。たまに歯ぐきから血が出ますが、それ以外は困っていないし、痛みもないですけどね」

あなた「歯ぐきの病気は痛みがないうちに対処しないと、痛みが出てからだと歯が揺れて噛みにくくなって、歯が抜けてしまうこともあります」

南手茂「そうなんですね。何本か歯は抜いたけど、噛みにくいことはないの、そのままにしてるんですけど」

あなた「今のまま放置していると、もっと歯が抜けてしまうかもしれません。噛み合っている歯が少なくなると、噛みにくくなりますよ」

南手茂「硬いものが好きなので噛めなくなるのは困ります。やっぱり好きなものを食べて長生きしたいですしね」

南手茂さんのお口の健康に対するモチベーションアップにもなると考え、あなたは噛みにくさと寿命に関係があるのか調べてみることにしました。